

中国の「コウセン」は何だか変です。 新聞社は「公の船」と 紛らわしい表現を使うべきではない！

いつも、腹立つ思いで見逃してやっているけれど「日本の新聞社は中国に洗脳されているのだろうか」。

日本の領海を不法に侵犯してくる船をなぜ「公船」と仰々しくも崇めたてまつるのか。そんな負け犬根性が恥ずかしくないのか？

新聞社は中国からワイロをもらってやっている確信犯なら仕方ないとしても、金を払って読まされている我々はたまったものじゃない。

新聞社はまじめに読者の方を見るべき。

◆日本では「公」は日本国や日本の役所にかかわること、をいう。

したがって、「日本の領海を侵犯する他国の船舶」に「公」の文字を献上することはない。それこそ「公私混同」というべきだろう。

新聞社がそんな対応をしているから、無法者国家「中国」はワル乗りして領海侵犯を繰り返す。

新聞社はまじめに正しい言葉を使って、正確な報道をするべきなのです。

日本の法律を破り、国際法も無視し、わが日本領海の侵犯を繰り返す中国の船は断じて「公船」ではない。

新聞社並びに大マスコミは正しい日本語で報道をしていただきたい。

第11管区海上保安本部（那覇）は中国の「海警2101」「海警2307」「海警2337」、機関砲を搭載した「海警31239」の4隻。

日本の巡視船は4隻に「日本の領海から出るように」警告した。

中国の船が尖閣諸島周辺で確認されるのは4日間連続だ、という。

